

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
育ってほしい児童の姿	<p>入学当初の児童の姿 ○小学校生活に対して、不安な気持ちと楽しい気持ちをもっている。 ○学校生活について分からないことが多い。 ○何事にも進んで取り組もうとする意欲がある。</p> <p>育ってほしい児童の姿 ○自分の考えをもち、表現できる。 ○課題解決に向け主体的・協働的に取り組む。</p>											
生活科を中心とした単元構成 幼保小交流活動	<p>生活科「みんななかよし」 ●2年生に学校を案内してもらう 国語科「何て言おうかな」「どうぞよろしく」他 音楽科「うたってなかよし」 図画工作科「すきなかたちやいろなあに」 ●年長児との交流 「すなやつちとなかよし」「なつはおもしろいことはいっぱい」 道徳「あかるいあいさつ」「はりきりいちねんせい」「ぼくは給食当番」 学活「どうぞよろしく」「楽しい給食」「日直・当番の仕事」「図書館の使い方」 ●新しい友達と仲良くなり、学校生活に慣れ、安心できるようにする 生活科「わくわくどきどきをみつけよう」「ともだちとなかよくなるよう」 「学校と仲良くなるよう」「はなやさいおおきくなってね」 体育科「固定遊具を使った運動遊び」●2年生と一緒に活動する 「新体力テスト」●6年生とペアで測定を行う 「水遊び(水泳)」●2年生と水遊びを行う 1年生を迎える会 ●縦割り班で、他学年児童との交流をもつ 山南スポーツフェスティバル ●2年生と一緒に競技の練習をする ●他学年の児童と一緒に競技を行う</p> <p>生活科「あきをみつけよう」「たのしいねあきのあそび」「ようこそあきのテーマパークへ」 ●学習計画を自分達で立てて秋見付けに行く。年長児と秋見付けや制作を楽しむ ●集めた自然物を使って工夫して遊ぶ。遊びの広場で保育園の年長児を招待して楽しんでもらう。栽培した花の種をプレゼントする。 国語科「こんなことがあったよ」 算数科「形遊び」「10より大きい数」「たし算」「ひき算」図画工作科 「はこでつくったよ」「わくわくおはなしごろく」 社会見学 学級活動「社会見学に向けて」2年生と一緒に計画を立て、実施する 山南フェスティバル 学級活動「山南フェスティバルに向けて」2年生と一緒に計画を立て、実施する ●他学年へ向けて発表する ●発表会に向けて、4月から教科と関連させて学習を行う ●発表会リハーサルに園児を招待する</p> <p>生活科「かぞくだいすきだよ」 国語科「手がみで知らせよう」道徳科「サバンの子ども」 ●「すまいる大作戦」を計画し、家族の一員として自分にできることを考え、実践する 生活科「大きくなったね一年間」 国語科「いいこといっぱい一年生」 ●参観日等で、できるようになったことを発表し、自信につなげる 生活科「寒さの中で元気いっぱい」「もうすぐ2年生」 ●地域の方に昔遊びを教えてもらい、交流する。園児を招待して一緒に昔の遊びを楽しむ 国語科「手紙で知らせよう」学活「新1年生を迎えよう」 ●新1年生に向けて入学体験交流のお知らせの手紙を書き、入学説明会の際に配付する ●新1年生に授業参観や交流活動を行う 児童会「六送会」 ●6年生への感謝の気持ちをもち、みんなで楽しい思い出を作る</p>											
指導上の配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期に親しんだ活動(絵本・手遊びなど)を取り入れ、分かりやすく学びやすい環境を整える。(教師・視覚支援・スモールステップ・肯定的評価など) ・生活科を中心とした合科的関連的な単元構成やモジュール学習などによる工夫を行い、児童の思いや願いを大切にした学習活動を通して、友達作りや安心感につなげる。 ・学校行事を中心に、意図的に異学年との交流の場を設定し、人との関わり方や活動の仕方を学ぶ機会とする。(たて割り班活動、学校探検、給食当番、清掃活動 など) ・連休明けや長期休業明けには、学校生活のリズムに慣れたり取り戻したりできるよう、生活科や音楽、図工、体育などを時間割に取り入れるなど時間割を工夫する。 ・就学前の実態をふまえた児童理解を行い、活動の前に「園ではどうだった?」「やったことがある?」など、就学前の学びを生かした学習になるよう工夫する。 ・図書館補助員との連携を密にして、関連図書の収集、紹介、読み聞かせなどを依頼し、本に親しむ工夫を行う。 											
園・所との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・随時、児童の様子などについて情報交換し、必要に応じて通信のやり取りなどを通して情報共有を行う。 ・山南スポーツフェスティバルでの「かけっこ」の競技に招待する。 ・山南フェスティバルのリハーサルに招待する。(若葉園・白百合保育園) ・保育参観、アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムの交流等を通して、幼保小合同研修を行う。 ・生活科でつくったおもちゃを年長児とともに楽しむ。 <p>必要に応じて、園と小学校の訪問・交流を実施する(交流打ち合わせ及び反省、情報交換 など)</p>											
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式後に、担任の思いや学校生活について伝え、保護者からの質疑応答の時間を確保する。 ・各学期に一回実施される「生活ふり返り週間」へのコメントの依頼や規則正しい生活習慣の定着に向けた呼びかけを行う。 ・家庭学習や持ち物、学校行事、子ども達の学校生活の様子等について定期的に学級通信等で分かりやすく伝える。 ・通信や学級懇談会等で、学校行事に向けての取組の様子を知らせて保護者と共有し、保護者の安心感や子ども達の達成感や自信につなげる。 ・こまめに保護者と連携を取り合い、信頼関係を築く。 <p>・来年度入学説明会で、学校生活についての説明を行う。</p>											